

縄文

JOMON SNOW FESTIVAL



雪まつり

日時

平成29年2月6日(月)～12日(日) 8:45～18:00

※6日は13:00から、12日は15:00まで

会場

北海道庁赤れんが庁舎 2階1号会議室

(札幌市中央区北3条西6丁目 電話：011-231-4111)

入場無料

北の縄文は冬も熱い！
縄文文化の造形美が
私たちに語りかけます

赤れんが北の縄文世界展

国宝の土偶・土器のレプリカ等を展示

北の縄文セミナー in 赤れんが

日時

平成29年2月11日(土・祝)

13:00～15:00



「火焰型土器」
十日町市博物館提供(小川忠博氏撮影)



「中空土偶」
函館市縄文文化
交流センター提供



「合掌土偶」
八戸市埋蔵文化財
センター提供

- 主催：北海道、北の縄文道民会議
- 共催：北海道縄文のまち連絡会
- 協力：札幌国際大学縄文世界遺産研究室
北海道中央バス株式会社

赤れんが北の縄文世界展

出土品展示

北海道、青森県、新潟県で出土した土器や土偶を展示します。

※異形土器を除き、出土品はレプリカです。



国宝
中空土偶
(函館市著保内野遺跡出土)



国宝 合拳土偶
(青森県八戸市風張1遺跡出土)



国宝 火焰型土器
(新潟県十日町市笹山遺跡出土)



重要文化財 土面
(千歳市ママチ遺跡出土)



重要文化財
大型板状土偶
(青森県青森市三内丸山遺跡出土)



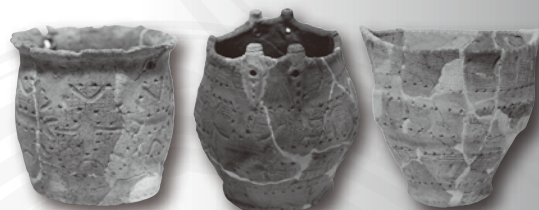
道指定有形文化財
赤彩注口土器
(八雲町野田生1遺跡出土)



道指定有形文化財 土偶
(根室市初牛20遺跡出土)



札幌市指定有形文化財 土偶
(札幌市N30遺跡出土)



異形土器(千歳市ママチ遺跡出土)(3点)

パネル展示

世界遺産登録を目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」の紹介と、縄文の出土品を撮り続ける写真家・小川忠博さんの作品を展示します。

北の縄文セミナー in 赤れんが (道民カレッジ連携講座)

※お申し込みは不要です。直接会場へお越しください。

日時 平成29年2月11日(土・祝) 13:00~15:00

会場 北海道庁赤れんが庁舎 2階2号会議室

テーマ: 「北の縄文を旅する」

『弓と櫛と環状列石-今に残る「縄紋」』

講師

前 秋田県埋蔵文化財センター長
小林 克氏



略歴: 1956年秋田県神岡町生まれ。早稲田大学卒業後、秋田県教育庁に勤務。その後、秋田県埋蔵文化財センターへ異動し、鹿角や小坂の遺跡発掘に関わる。1997年から99年まで文化庁文化財保護部記念物課にて文化財調査官(埋蔵文化財部門)として勤務。2000年から秋田県埋蔵文化財センターにおいて調査課長、副所長として従事した後2015年に同センター所長に就任。2016年3月に定年退職後、現在に至る。
著書: 『大規模集落と生活の安定』『縄文のムラ、墓と祈り』『ここまでわかった日本の先史時代』(岡村道雄編、角川書店) など

『北の土偶が語る縄文世界』

講師

(公財)北海道埋蔵文化財センター
常務理事 長沼 孝氏



略歴: 1954年札幌市生まれ。静岡大学卒業後、北海道教育委員会に勤務し、北海道内の埋蔵文化財保護行政・発掘調査に従事。近年では縄文遺跡群の世界文化遺産登録推進の取り組み、埋蔵文化財及び文化財全般にかかる保護行政、道立美術館ほか9つの所管施設の管理・運営などを担当し、平成27年3月に定年退職後、現在に至る。
著書: 『新版 北海道の歴史 上』(共著、北海道新聞社刊) など

※各講師約60分

セミナー
ご参加の方には、
「縄文カイロ」
をプレゼント!

セミナー終了後
「縄文太鼓」
の演奏を
行います。

北海道
縄文のまち連絡会
PRESENTS

「縄文人の道具にさわってみよう!」

遺跡から発見された土器のかけらや黒曜石などにふれるコーナーを開設。ぜひ、本物の縄文人の道具をさわって、当時の人々のことを想像してみてください。

お問合せ

■北海道環境生活部文化・スポーツ局文化振興課 縄文世界遺産推進室
電話: 011-204-5168